

台風により、天の川で過去最大の水位

9月17日未明から18日にかけて、台風18号が北海道に上陸し、町内で床上浸水や一部町道が水没するなど被害が発生しました。本町海岸方面では、大千軒岳付近の雨量が200mmを超え、石崎地区で床上浸水の被害があったほか、小砂子地区でも強風に備えて数世帯が避難所で一夜を明かしました。また、山方面と中心部では、湯ノ岱地区で172mmの雨量を記録し、天の川が数時間に渡って危険水位を超える状態が続きました。この結果、支流や水路から溢れた水が市街地に流れ込み、複数箇所で行止めとなったほか、一部家屋で床下浸水する被害が確認され、湯ノ岱、小森、大留・中央区、上ノ国地区に避難所が開設されました。幸いながら、今回の台風で人命に關わる被害はありませんでしたが、天の川の土手の一部で越流があるなど、あと少し雨量が増えていれば土手の決壊も考えられる事態でした。近年の災害による被害は全国的に増加傾向にありますので、事前の自主避難も視野に入れ、避難誘導があつた場合も『わざわざ避難しなくても大丈夫かな?』と決して思わず、速やかに避難しましょう。



中須田地区の土手



大留地区の町道



上ノ国地区の町道



天の川橋と河回付近

上ノ国の秋の味覚大集合

9月16日から17日にかけて、秋ならではの味が集う『秋の味覚祭』が道の駅もんじゅ前に開催され、多くの来場者で賑わいました。会場では、おなじみとなつている一皿千円の特産品バーベキューが販売され、あわびやウニといった海の幸、メークイン、生しいたけなどの山の幸の盛り合わせが上ノ国の秋を余すところなく表現し、好評を博していました。また、町内外の飲食店も多数出店したほか、じゃんけんや計量クイズに勝つと採れた特産品が、安く手に入る催しなど、見どころが満載のイベントとなつていました。今年この味覚祭は、台風の影響から3日間の日程が2日間に短縮されましたが、この両日は天候にも恵まれ、地域やシルバークの味を満喫していただきました。



23年ぶりに本町を走る! ツール・ド・北海道開催!

9月8日から10日にかけて、『ツール・ド・北海道』が開催され、内2日間をプロ・アマチュアのロードレーサーが本町市街地を駆け抜けました。本大会は、公益財団法人ツール・ド・北海道協会が主催する自転車ロードレースで、初日の8日は函館をスタートし、木古内方面から本町に入り、厚沢部町を抜けて北斗市でゴール。2日目の9日は北斗市をスタートし、松前町をまわつて本町に入り、湯ノ岱方面を抜けてゴールの木古内町を目指しました。選手たちが本町を通過する際、沿道には地域の方々が旗を振りながら応援に駆けつけ、同時に、普段見慣れた公道を会場としたレースに迫力と疾走感を感じている様子でした。

